



mizue進路コラム no.2

いきなりですが、こう思っている人はいませんか？

「自分は本番に強い！入学試験当日の点数さえ取れば良い！」

…そう、考えている人！もしそう思っている人がいるならば、考えを改めましょう。

第1回進路説明会で話しした内容の復習ですが、

①都立の推薦入試では、学校によって試験の内容・配点はさまざまですが、調査書（＝素内申）・面接・作文・（実技）で合否が決まります。

また都立の一般入試は、ほとんどの学校が調査書（＝換算内申）・学力検査の点数の合計で合否が決まります。調査書点と学力検査点の配点の比率は3：7です。多くの学校で、3割は普通の学校生活の中でどれだけ学習に力を入れているかが見られるということになります。

②私立の推薦入試は、ほとんどの学校が成績（素内申）についての基準を提示しています。

人物的な評価がどんなに高くても、成績が足りないと推薦制度は利用できないのです。（注：評価とは別に欠席・遅刻等の基準を設けている高校も多いので、各校の説明会で必ず確認を！）

私立高校の併願優遇（都立高校を第1志望として、第2志望として私立高校を受験することが多い。）

…都立高校を第1志望とする受験生のおよそ8割がこの制度の利用を希望します。推薦入試と同様、高校から成績についての基準が提示されます。

したがって、ほぼすべての高校受験に、中学校の成績が大きく関係してきます。定期考査は、受験そのものだということを意識して学習に臨みましょう！

貴重な3年生の時間。

後悔しないために いま、頑張れ瑞中3年生！！



備考：

私立高校の一般入試（併願優遇や第一志望の単願には基準が足りない場合などでも受験可能）

…私立高校の一般入試日は2/10や2/11が多いので、都立の一般入試（2/21）よりも早く結果が出ます。調査書は必要ですが、選抜方法を筆記試験（多くは3教科）と面接のみとしている高校が多いです。

都立の一部の高校（チャレンジスクール、エンカレッジスクール）では、多様なタイプの学校として学力検査がなく、上記の選抜方法とは異なります。チャレンジスクールとは、昼夜間の定時制、総合学科、単位制の高校で、主に小・中学校で長期にわたる欠席の経験がある生徒などに向けた学校で、カウンセリングなども充実しています。また、エンカレッジスクールとは、小・中学校の学び直しなども行える全日制の学校です。江戸川区内にはありませんが、都内にチャレンジスクールが7校、エンカレッジスクールが6校あります。